

壬生町羽生田地区用地造成事業
自然環境保全モニタリング検討委員会

現場調査議事録要旨

- 1 日時 平成 23 年 12 月 2 日（月曜日）10:00～12:00
- 2 場所 桜岡・丸山・七浦 JV 現場事務所 1F
- 3 出席者 委員長 青木章彦（作新学院大学女子短期大学部教授）
委員 遠藤孝一（日本野鳥の会栃木副代表）
委員 香川清彦（宇都宮大学農学部生物生産科学科）
委員 杉山恵一（壬生町羽生田地区連絡協議会長）
委員 野中 純（日本野鳥の会栃木調査記録委員長）
事務局： 県企業局地域整備課 3名
外：業務請負者 2名

4 議題

(1) 県有地林および民有保安林の残地木について

◇資料（平成 23 年度壬生町羽生田地区用地造成事業（県有地林および残地木確認調査）
について事務局が調査工程を説明し了承を得た。

◇現場調査時において以下の指摘があった。

- ・県有地林および民有地林を合わせて保全できるように、隣接する民有地林の地権者に協力を依頼した方が良い。
- ・県有地林に位置する草地の草刈りを行い、サシバの餌場を確保し利用できるようにする。
- ・民有保安林の皆伐区域においては、選定した 4 個体のサクラ類を残地木とする。針葉樹に関しては、伐採する。
- ・皆伐後は、ササ類が繁茂しないよう 3 年連続で 8 月中（土用以降）にササ刈りを行う。

(2) その他

◇事務局側からオオムラサキ幼虫の移植を含めた自然観察会の日程、民有保安林における今後の土地利用について説明した。

◇閉会

以上をもって散会となった。